

○決算特別委員長（大野一行君）

おはようございます。

9月定例会で本委員会に付託されました、令和6年度土庄町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに公営企業会計決算の認定について、閉会中に審査した結果を報告いたします。

本委員会は、10月2日から7日まで開催し、初日には、長門監査委員より令和6年度決算審査の意見をいただきました。

それでは概要から申し上げます。令和6年度決算の一般会計と特別会計を合わせた総収入総額は153億5159万8641円で、前年度比6.1%の増、歳出総額は146億7705万4069円で、前年度比9.0%の増です。

一般会計の歳入は109億6695万4009円で、前年度比9.7%の増、歳出は104億9506万5083円で、前年度比13.1%の増です。形式収支は、4億7188万8926円の黒字となりましたが、前年度から累積する繰越金や財政調整基金繰入金などの黒字要素及び赤字要素を除いた差引額、実質単年度収支は、4億3172万円の赤字となりました。

続きまして、各課からの一般会計の歳入歳出決算の状況について、主なものを説明いたします。

総務課所管の令和6年度決算額は、12億7078万3814円で、前年度と比較して7555万7242円、6.3%増となっています。増額の主な要因は、地方公共団体情報システムの標準化・共通化にかかる委託料、自治体情報セキュリティ強化対策にかかるサーバー等のリース料の増、及び定額減税補足給付金事業費の増などによるものです。

企画財政課所管の令和6年度歳出決算額は、22億5760万6507円で、前年度と比較して、2億9472万5634円、15.0%の増となっています。増額の主な要因は、企画費及び財政調整基金費の増によるものです。

税務課所管の令和6年度歳出決算額は、1億1971万2727円で、昨年並みとなっています。

一般会計における町税の収入決算額は、14億3574万6807円で、前年度に比べ約5390万円の減となっています。減の主な要因は、令和6年度に実施された定額減税の影響によるものです。

会計課所管の令和6年度歳出決算額は、1712万996円で、前年度と比較して、330万1286円、23.9%の増となっています。増額の主な要因は、金融機関への手数料の増加及び振込手数料抑制のための財務会計システムの改修費によるものです。

議会事務局所管の令和6年度決算額は、8010万7587円で、前年度と比較して、169万2343円、2.2%の増となっています。増額の主な要因は、前年度は議

員改選があったため、議員報酬、手当が一部減算されていたことによるものです。

建設課所管の令和 6 年度歳出決算額は、10 億 6629 万 5641 円で、前年度と比較して、7317 万 9582 円、7.4%の増となっています。増額の主な要因は、行者原住宅建替事業が令和 6 年度から第 1 期工事に着手したことによるものです。

農林水産課所管の令和 6 年度歳出決算額は、2 億 8203 万 7376 円で、前年度と比較して、2394 万 2014 円、7.8%の減となっています。減額の主な要因は、単県水産振興対策事業及び活性化緊急支援事業の終了によるものです。

商工観光課所管の令和 6 年度歳出決算額は、3 億 6306 万 8959 円で、前年度と比較して、6078 万 2390 円、20.1%の増となっています。増額の主な要因は、エンジェルロード公園の駐車場整備費、瀬戸内国際芸術祭事業費及びオーバーツーリズム対策費などの増によるものです。

教育総務課所管の令和 6 年度歳出決算額は、11 億 6649 万 6256 円で、前年度と比較して、2 億 2743 万 4174 円、24.2%の増となっています。増額の主な要因は、大鐸こども園建設費の増によるものです。

生涯学習課所管の令和 6 年度歳出決算額は、4 億 5049 万 7089 円（後ほど訂正あり）で、前年度と比較して、2 億 3516 万 7479 円、75.8%の増となっています。増額の主な要因は、湊崎第二グラウンド整備事業及び土庄第二体育館トイレ建設事業などの増によるものです。

健康福祉課所管の令和 6 年度歳出決算額は、21 億 4973 万 9829 円で、前年度と比較して、6936 万 1452 円、3.1%の減となっています。減額の主な要因は、価格高騰や子育て世帯に対する給付金の終了などの減によるものです。

住民環境課所管の令和 6 年度歳出決算額は、11 億 7659 万 8302 円で、前年度と比較して、3 億 3730 万 7090 円、40.2%の増となっています。増額の主な要因は、御影浄苑整備事業費の増及び香川県広域水道企業団への出資金の増によるものです。

続いて、特別会計の主なものについて、説明いたします。

国民健康保険事業の歳出決算額は、16 億 9922 万 257 円で、被保険者数の減少による保険給付費の減などにより、前年度と比較して 1 億 2016 万 2701 円、6.6%の減となっています。

港湾整備事業の歳出決算額は、2668 万 5651 円で、ターミナルビル改修工事及び黒字化に伴う基金積立金の皆増により、前年度と比較して 1171 万 7235 円、78.3%の増となっています。

宅地造成事業の歳出決算額は、1375 万 2555 円で、前年度と比較して 4 万 8816 円、0.4%の増となっています。

大鐸財産区事業の歳出決算額は、108 万 195 円で、前年度と比較して 26 万 8502 円、33.1%の増となっています。

介護保険事業の歳出決算額は、20億4588万5529円で、保険給付費の増などにより、前年度と比較して7017万3187円、3.6%の増となっています。

福祉サービス事業の歳出決算額は、9759万5301円で、居宅介護支援事業費の増などにより、前年度と比較して1989万9481円、25.6%の増となっています。

後期高齢者医療事業の歳出決算額は、2億9776万9498円で、保険料収入の増に伴う広域連合分賦金の増により、前年度と比較して2000万7676円、7.2%の増となっています。

最後に農業集落排水事業になります。令和6年度より、地方公営企業会計の適用を受けており、収益的収入及び支出の総額は、ともに1402万9035円となっており、また、資本的収入および支出の総額は、ともに345万7762円となっています。

以上、各課からの説明を受け、質疑を経て、認定の賛否を問いました。

当委員会としては、慎重に審査した結果、マイナンバー関連事業の支出にかかる総務課所管の決算及び住民環境課の決算について、また、さくら公園委託料の支出にかかる教育総務課の決算について、反対意見がありましたが、全ての決算を認定すべきものと決したことをここにご報告いたします。

次に審査の過程で各委員から出された質疑・意見などを所管課ごとに報告します。

まず、総務課から。委員から、デジタルデバインド対策の成果についての質問があり、初心者向けのスマホ教室を開催し、参加者は47名であった。「わかりやすかった」「他の人にも勧めたい」といった好意的な意見をいただいたとの回答がありました。

次に、企画財政課です。委員から、「移住した方がどのくらい出ていくのか、出ていく理由等も調べて、活かさないと定住率が上がらないのではないか」との質問に、移住者の数は、転入、転出する際に任意のアンケートで把握している。転出理由は、島で就職した後の転職先の選択肢がないという回答が多いとの回答がありました。

次に、税務課です。委員から、「国保税だけ収納率が悪い理由は」との質問があり、要因の一つとして、年金から特別徴収される国保加入者が後期高齢者医療制度へ移行しており、収納率が少し落ちていると考えられるとの回答がありました。

次に、会計課です。委員から、「コンサル委託のうち、その他とは何か」との質問に、土木・測量業務委託以外の計画策定等を指し、6年度では、指名競争入札5件のうち、2件が「その他」委託であるとの回答がありました。

次に、議会事務局です。委員から、「議員年金は、今何名の方が受給されてい

るのか」との質問があり、退職年金が 7 名、遺族年金が 12 名との回答がありました。

次に、建設課です。委員から、「ターミナルビルの今後の方向として、改修せず、そのまま運営していくのか」との質問に、平成 4 年に建築して 30 年以上が経過し雨漏りをしており、大規模な改修が必要と考えているとの回答がありました。

次に、農林水産課です。委員から、「松枯れは、早期発見で伐採し、被害をなるべく防ぐよう行っていただきたい」との意見に、パトロール等を実施し、被害が発生していれば速やかに除伐等の対応をしていきたいとの回答がありました。

次に、商工観光課です。委員から、「どてかぼちゃ大会の参加者が 40 名と少ない理由は」との質問に、北海道から鹿児島の方まで登録はもっと多いが、現地まで持ってこないと測れないというルール、暑さの影響などで腐ったりなどが要因と思われる。時期も含め、もっと来てもらえるよう検討したいとの回答がありました。

次に、教育総務課です。委員から、「学校の先生が足りないのは全国的な傾向だが、当町の小・中学校でも先生が 4 月時点から足りていないのか」との質問があり、土庄町においては、定数を配置していただいたが、土庄小学校では、その後、産・育休の 2 名の代替が配置されていないとの回答がありました。

次に、生涯学習課です。委員から、「尾崎放哉記念館の来館者は、年間 1000 人ぐらいなので、土日だけ開けるなどのコスト削減を考えていただきたい」との意見に、以前から出ている記念館の無人化については、貴重なものを展示しており、セキュリティ等の問題もあるため、現時点では無人化は考えていないとの回答がありました。

次に健康福祉課です。委員から、新しい事業のうみまちサポートを利用された方の感想についての質問があり、小豆島中央病院と連携病院との連携がスムーズで、利用された方から安心感があると好評をいただいている。退院後の支援や産後ケア指導などへの接続も、うまくいっていると聞いている、との回答がありました。

次に、住民環境課です。委員から、「改良住宅使用料の滞納繰越分が毎年増加している。過去 3 年間の滞納額は」との質問に、令和 4 年度が 225 万 2100 円、令和 5 年度が 233 万 6700 円、令和 6 年度が 251 万 3900 円との回答がありました。

以上で、当委員会に付託されました決算認定の審査結果の報告を終わります。

○決算特別委員長（大野一行君）

申し訳ありません。少し訂正させていただきます。

生涯学習課所管の令和6年度歳出決算額を「4億4549万7089円」と申しましたが、「5億4549万7089円」が正しい数字となりますので、訂正いたします。申し訳ありませんでした。